

我が町再発見

かこうてん 「火光天の火祭り」



飯田神社は「^{こんびら}琴平様」の通称で知られています。160段の石段のある高台に鎮座しています。その本殿の後ろの大きな石碑に、赤い大きな「火光天」という、何か神秘的で真っ赤な文字が目に入ります。これが火光天です。



火光天の祭りは飯田神社秋の例大祭前日の宵祭り。昔は、当番が明け方まで火をたいて祈願する「火祭り」でした。子どもたちもその晩は神社に泊まるのが許されて楽しみにしていました。

祭典は夕方6時、宮司の祝詞奏上の後、火光天のろうろくから大きなろうそくに分火し、高く積み重ねたソダマキ(ナラ・クヌギなどの雑木)に総代長が宮司から受け取ったろうそくの火を点けます。パッと燃え上がる炎に取り巻く氏子たちの心も燃え上がります。

飯田神社副総代長 ^{かさはらていじ} 笠原貞次



編集後記

今定例会から議会体制が新しくなり、編集を担当する議会広報発行特別委員会の構成も新しくなりました。

議会と住民をつなぐ横の糸になりたいと考えています。温かな豊かな小川町をつくるための一助となれるように努力していきます。

編集委員 島崎隆夫

読む人の立場に立って、わかりやすい、いい議会報にしたいと思っています。編集委員みんな張り切っていますから、ほら、いいものができたでしょう。ご意見、遠慮なくお寄せください。

編集委員 笠原 武



委員長として送り出す初めての議会報。編集中は、悪戦苦闘・試行錯誤の連続でした。30～80歳の最強メンバーが集結。今まで以上に議会報から目が離せませんよ。

編集委員長 高瀬 勉

町民の皆さんに議会をより身近に感じていただきたいとの想いの中、私達のできる唯一の情報発信誌として、議会の様子を分かりやすく工夫した紙面づくりをしまります。

編集委員 戸口 勝

昔の夢は新聞記者でした。1年生らしく、それぞれの想いをありのままに伝えていきます。

編集委員 笠原規弘

何もかも新米の1年生です。編集副委員長という立場で委員長を助けながら、町民の皆様読みやすい・わかりやすい議会報をお届けできるよう頑張ります。

編集副委員長 田中照子

議会だより おがわ No. 77

小川町議会だより 77号
平成27年12月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長 根岸 成美
委員長 高瀬 勉
副委員長 田中 照子
委員 戸口 勝
委員 笠原 武
委員 島崎 隆夫
委員 笠原 規弘

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

12月2日 からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

